

平成 25 年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市 町 村 名 枚方市
 実践研究校名 第四中学校

【公開授業】公開日：平成 26 年 1 月 27 日

対象学年：第 2 学年

(教材・教科書名) New Horizon English Course 2 東京書籍 (単元名) Speaking Plus4 買い物	(本時の指導の目標) ○買い物の場面での英語を理解し、英語で買い物をすることができるようになる。 ○自分の欲しいサイズや色などを英語で店員に伝え、変更できるようにする。 ○「～しましょうか」と申し出ることができるようにする。
--	---

(本時の授業において工夫した点)

- ・買い物の場面で、品物の絵が描かれた picture card を使用して活動させ、実際の場面が生徒にイメージしやすいようにした。
- ・NET を含めた教員 3 名が分担してグループごとについて、eye contact や pronunciation の指導をした。

(授業を終えた教員の感想)

- ・英語が得意な生徒が集まるグループと苦手な生徒が集まるグループができてしまい、活動に取り組む姿勢に差が出てしまった。グループの作り方に配慮をしたい。
- ・当日、10名の欠席者がいたため、班のメンバーを変更したグループがあり、普段の活動と異なった雰囲気になった。

【研究協議会】

(テーマ) Motivationのあがる授業について	(指導・助言者) 関西大学教授 竹内 理 氏
-------------------------------	------------------------------

(研究協議会で出された意見)

- ・少人数授業の効果について、構成人数が少ないことの利点を活かすことが大切である。
- ・基礎クラスの生徒への基礎学力の定着については、教えあい学習ができるクラスのメンバー構成をすることが効果的である。
- ・NET はオールイングリッシュで授業をすることが効果的で、それを日本語で訳すことは極力避けるほうがいい。活動のルール説明では、生徒にモデルを見せることで内容を伝えることが求められる。

(まとめ)

1. 少人数授業で効果を出すため、基礎クラスの人数を増やし、生徒同士が教えあう場を提供することが、より良いクラス経営や学習効果につながる。
2. NET は授業を英語で進める中で、モデル等を効果的に示すことで、生徒が自信を持って活動できるようにサポートすることが大切である。